

「神経難病患者に対する陰性感情」
についての看護研究ご協力依頼

第1版

作成日：2012年9月5日

北海道医療センター

はじめに

研究の内容を十分にご理解いただいた上で、あなたの自由意思でこの研究に参加していただけるかどうか、お決めください。ご参加いただける場合は、別紙の「同意文書」にご署名下さい。

1. 研究の目的

神経難病患者は、訴えを理解してもらえない時や満足のいくケアが受けられない時、看護ケアを拒否する場合や暴力等で表現してくる事があります。また同じ看護ケアを行っても患者が看護師を選ぶ事もあります。このような現状から少なからず関わりに恐怖を感じたり、躊躇したり、悲しくなったり私達は陰性感情を抱く事があります。しかし、患者に対して個人的な感情を持つてはならない、患者に対して怒ってはいけない、泣いたり取り乱したりしてはいけない、患者のためにが出来て当たり前という暗黙のルールがあると言われていています。このような状況から看護師は感情（特に陰性感情）の表出を無意識のうちに抑圧していると言われていますが、神経難病患者に関わる看護師が抱く陰性感情の実態を明らかにすることを目的に研究をします。

2. 研究の方法

(1) 対象者

北海道医療センター4-4病棟に勤務する看護師

(2) 研究方法

インタビュー方式（1人15分程度）

(3) 研究への参加期間

平成24年10月～12月予定

(4) 研究終了後の対応

この研究が終了した後は、この研究で得られた成果も含めて、看護の向上に繋げていきたいと思っております。

3. 研究への参加とその撤回について

あなたがこの研究に参加されるかどうかは、あなたご自身の自由な意思でお決めください。たとえ参加に同意されない場合でも、あなたは一切不利益を受けませんし、これからの治療に影響することはありません。また、あなたが研究の参加に同意した場合であっても、いつでも研究への参加をとりやめることができます。

4. 個人情報の取扱いについて

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

また、この研究が正しく行われているかどうかを確認するために、倫理審査委員会などが、研究の記録などを見ることがあります。このような場合でも、これらの関係者には、記録内容を外部に漏らさないことが法律などで義務付けられているため、あなたの個人情報は守られます。

この研究から得られた結果が、看護研究発表などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することが外部に漏れることは一切ありません。この研究で得られたデータは、他の目的で使用することはありません。

なお、この研究終了1年後にはすべて廃棄いたします。その際も、個人情報が外部に漏れないよう十分に配慮いたします。

5. 研究担当者と連絡先（相談窓口）

この研究について、何か聞きたいことやわからないこと、心配なことがありましたら、以下の研究担当者におたずねください。

【研究担当者】

- 石塚 千賀子 北海道医療センター4-4 病棟看護師
 - 福田 寿江 北海道医療センター4-4 病棟看護師
 - 鈴木 穂波 北海道医療センター4-4 病棟看護師長
- (○ 研究責任者)

【連絡先】

北海道医療センター4-4 病棟

住 所：札幌市西区山の手5条7丁目1-1

電 話：011-611-8111（代表）